

令和5年度末 森林環境譲与税の状況（HP公表資料）

（単位:千円）

年度	都道府県	市町村	事業区分	事業名	森林環境譲与 税額	当年度基金へ の積立額	当年度基金の 取崩し額	事業内容
R5	埼玉県	杉戸町	基金積立 (木材利用等)	森林環境基金 積立金	4,730	0	6,661	県産木材の利用促進や木 育植樹活動、更には町内 公共施設の木質化や小中 学校等における木製遊具 等の整備に対する事業費 として基金積み立て。

基金残高	7,291
------	-------

子育て支援課（杉戸子育て支援センター）

▶杉戸町では、子どもと子育て支援の拠点として、より利用しやすく魅力的な場所、交流する場所とするために、空間づくりに関し、「自然環境から心身を育む空間づくり」をコンセプトとし、「木質化・木育化」を図るため、公共施設等への木材利用に森林環境譲与税を活用した。

■事業内容

◆未就学児用遊戯室の木質化を実施

【事業費】

10,951千円（全額譲与税）

【実績】

- ・大型すべり台・ボルダリング・おもちゃ棚・収納棚
- ・おままごと棚・赤ちゃんコーナー用木製たまごプール
- ・国産杉材製ベンチ・オリジナルサイン・ベンチ
- ・木のボーリング・寄木の積木

■取組の背景

自然素材の木の遊具・玩具は、断熱性や保温性に優れている点から、ぬくもりや匂い、木目の美しさを感じるにより「五感を刺激する唯一のおもちゃ」として子どもの健やかな成長を育む遊具や玩具の素材として最適であり、センターを利用する親子の最善の利益に繋がるものと考えた。



【大型遊具すべり台】



【ボルダリング】

■工夫・留意した点

木の遊具・玩具のメリットとして、①想像力を培う、②多様性を知る、③森との繋がりを知る、④いのちの大切さを実感できることが挙げられる。③や④の点については、埼玉県産の木材を活用しており、埼玉県の林業・林産物を活性化させるとともに、県内の木や森に関心が持てるようになることについて、期待できるものと考えた。

■取組の効果

- ・木材に触れることで五感が刺激され、感性や物事への視野が広がる効果が期待できる。
- ・木の匂い成分にも、リラックス効果があることが立証されており、情緒を安定させる作用が期待できる。
- ・木の魅力を知ることによって、将来的に環境を愛し、育てる人材が増えることが期待できる。木育を通じて、「自然を守る心」が自然と芽生え、環境問題への意識が高い子どもが増える。

産業振興課

- 杉戸町・神川町相互交流協定の目的である両町相互の地域活性化並びに森林環境譲与税の活用における木材利用・普及啓発の趣旨に照らし、相互交流都市である神川町産木材を使用することで、神川町との関わりを強化し、互いの町へ愛着を持ってもらうため、古利根川流灯まつりで使用する大型灯ろうの木枠用材料として神川町産の木材を使用した。

□ 事業内容

大型灯籠用県産木材購入

- ・ 杉戸町の夏の風物詩である古利根川流灯まつりの際に設置する大型灯ろうに、上下流交流の協定を結んでいる埼玉県神川町の木材を活用し、両町の交流と木材利用の普及を行うもの。

【事業費】441千円（うち譲与税441千円）
（譲与税は、木材購入費に係る部分に充当）

【実績】大型灯ろう50基分の木材を購入

- ・ 桧 1850mm×30×40 450本
- ・ 桧 2000mm×45×105 100本
- ・ 桧 1850mm×15×90 34本

□ 取組の背景

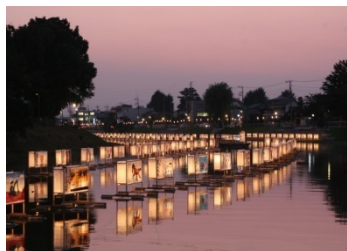
・ 杉戸町・神川町相互交流協定の目的である両町相互の地域活性化並びに森林環境譲与税の活用における木材利用・普及啓発の趣旨に照らし、相互交流都市である神川町産木材を使用することで、神川町との関わりを強化し、互いの町へ愛着を持ってもらうため、神川町産木材を購入することとなった。

□ 工夫・留意した点

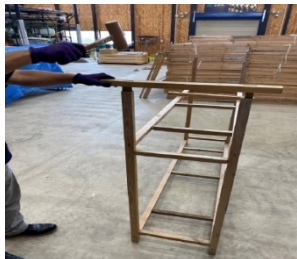
- ・ 大型灯ろう用木材として使用するため、水に強い桧を選定し、かつ、組立用に加工が必要なことから、節が少ないものを選定した。

□ 取組の効果

- ・ 流灯まつりでの使用や、灯ろう作りワークショップ等で利用することで、木材利用・普及啓発につながった。



（古利根川流灯まつり）



（組立作業）



（購入木材）